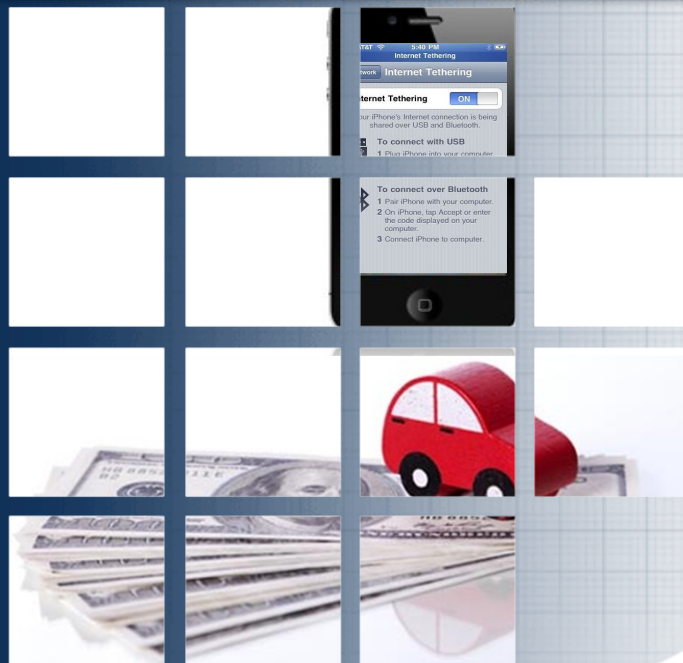


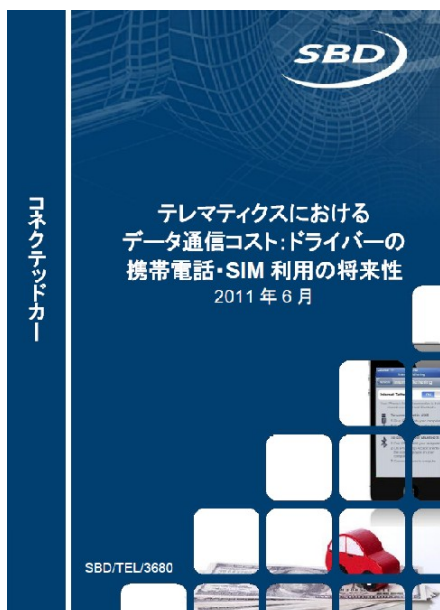
テレマティクスにおける データ通信コスト：ドライバーの 携帯電話・SIM 利用の将来性



中国、欧州、米国では 2014 年までに、ドライバーの SIM カードに依存する 少なくとも 24 のコネクティビティソリューションが開始予定

通信型サービスに発生する通信コストの回収は車両メーカーにとって最大のビジネス課題となっているなか、ドライバーの携帯電話データ通信プランを活用する方法が注目を集めています。しかしながらこの方法には、互換性や追加料金、採算性などクリアになっていない課題が未だ山積しています。SBD の最新レポート「**テレマティクスにおけるデータ通信コスト：ドライバーの携帯電話・SIM 利用の将来性**」では、ドライバーのデータ通信プランを利用した車載通信型サービスの可能性について調査し、リスクを最小限に抑えてソリューションを実施するための提言を行っています。

本書では、中国、欧州、米国におけるデータ通信プランを利用したコネクティビティの提供状況や、展開へ向けた取り組み、利便性、制約/リスクに関する分析を提供し、それぞれの地域におけるユーザー負担コストの観点から提言を行います。



本書では下記の内容を取り上げています。

- 中国、欧州、米国における、ドライバーの SIM カードに依存するコネクティビティソリューションの可能性と戦略策定
- 中国、欧州、米国において、コネクティビティにドライバーのデータ通信プランを利用する場合の課題とコスト
- ドライバーのデータ通信プランを利用するにあたっての留意点
- 簡単に利用でき費用効果が高いコネクティビティソリューションの選択

本書の詳細については、下記までお問い合わせください。

SBD ジャパン

postbox@sbdjapan.co.jp / 052 253 6201



▶▶ 携帯電話ベースのコネクティビティ - 利便性 vs 複雑性

今日コネクテッドカーの実現には数多くの方法があり、自動車メーカーは提供するサービスの種類、ユーザーのコスト意識、地域固有のニーズといった時に相反する要素を勘案する必要があります。自動車業界にとって最も大きなビジネス課題の1つは、通信型サービスに発生する通信コストです。コネクテッドカーサービスに関しては、利用時の通信コストの追加負担に対してユーザーは消極的であるため、自動車メーカー、Tier 1 サプライヤーおよびサービスプロバイダーは現在、ユーザーの携帯電話のデータ通信プランを利用したサービス提供を検討しています。しかしながら、このアプローチの実現には、さまざまな制約やリスクが伴います。

ドライバーの携帯電話のデータ通信プランを利用した車載通信型サービスの可能性は地域によって大きく異なり、次の3つの要因が成功のカギを握ると考えられます。

1. ユーザーによるデータ通信プランの利用率

SIM 持ち込み方式の多くでは、ドライバーが車内で利用できるデータ通信プランを契約していることを前提としています。このため、携帯電話でデータアクセスできるドライバーの割合と、その伸びを把握することが重要です。



2. 車内でのデータ通信プランの利用制約

ドライバーが自分の携帯電話のデータ通信プランを持っていても、そのデータ通信プランを車載システムと共有する際に制約が存在する可能性があります。テザリングの利用を禁じる通信事業者が増えている一方、「Data Bucket」方式を検討している通信事業者もあります。「Data Bucket」では、ドライバーが様々な通信デバイスに接続された複数のSIM で一定量のデータを使用することが可能です。

更に、ドライバーがSIM カードを車と物理的に共有することが必要なソリューションについては、CDMA 方式の携帯電話に取り外し可能なSIM カードがないといった実質的な制約が存在することもあります。SIM 共有には、ドライバーが Bluetooth-SAP 対応の携帯電話を所有していることが必要ですが、SAP の携帯への普及率は未だ低く、このことが障壁となる可能性があります。

3. 車載サービスにデータ通信プランを利用する際のコスト

車載サービスにドライバーのデータ通信プランが利用可能である場合、ドライバーにかかるコスト負担についても理解しておくことが重要です。車載サービスの利用によって予想外に高額な携帯電話利用料がユーザーの負担となるようであれば、サービスの継続利用は減少し、将来システムを購入する可能性も低くなります。通常データ利用の上限、超過コスト、ローミングコストなどの要素を考慮しておく必要があります。



本書では、上記の要因について詳細に分析し、中国・米国・欧州それぞれの地域においてドライバーのデータ通信プランに依存するコネクティビティソリューション展開にマイナスの影響を及ぼし得る重大な障壁を特定します。

本書で取り上げる課題:

- 中国・米国・欧州においてドライバーの SIM に依存するコネクティビティソリューションの成功の可能性は
- SIM 方式のソリューションを導入するにあたって障壁となるのは?
- 簡単に利用でき費用対効果の高い車両向けコネクティビティソリューションを選択するには?

»» ...know what tomorrow brings

目次

1. 要旨
2. 自動車業界のコネクティビティ戦略
 - 2.1 はじめに
 - 2.2 コネクテッドカー戦略の分類
 - 2.3 様々なコネクティビティ採用へ向かうOEM
 - 2.4 「持ち込み SIM」戦略のキーポイント
3. 中国についての考察
 - 3.1 中国の通信業界の概要
 - 3.2 データ通信プランの提供状況とその普及率
 - 3.3 車載サービスへのデータ通信プランの利用可能性
 - 3.3.1 テザリングに関する制約
 - 3.3.2 SIM 共有に関する制約
 - 3.4 車載サービスにデータ通信プランを利用するに際してのユーザーの費用負担
 - 3.5 中国における車とのテザリングの可能性
4. 米国についての考察
 - 4.1 米国の通信業界の概要
 - 4.2 データ通信プランの提供状況とその普及率
 - 4.3 車載サービスへのデータ通信プランの利用可能性
 - 4.3.1 現在のテザリングに関する制約
 - 4.3.2 テザリングに関する長期的戦略
 - 4.3.3 SIM 共有に関する制約
 - 4.4 車載サービスにデータ通信プランを利用するに際してのユーザーの費用負担
 - 4.5 米国における車とのテザリングの可能性
5. 欧州についての考察
 - 5.1 欧州の通信業界の概要
 - 5.2 データ通信プランの提供状況とその普及率
 - 5.3 車載サービスへのデータ通信プランの利用可能性
 - 5.3.1 テザリングに関する制約
 - 5.3.2 SIM 共有に関する制約
 - 5.4 車載サービスにデータ通信プランを利用するに際してのユーザーの費用負担
 - 5.5 欧州における車とのテザリングの可能性
6. キープレーヤーへの提言
 - 6.1 はじめに
 - 6.2 自動車メーカー
 - 6.3 Tier 1 サプライヤー
 - 6.4 通信事業者
 - 6.5 テレマティクスサービスプロバイダー

図表一覧

- 表 1. 車載サービスにおけるドライバーのデータ通信プランの利用に対する提言
- 図 2. 内蔵または持ち込みとなるコネクテッドカーのコンポーネント
- 表 3. SBD によるコネクテッドカーのコネクティビティ手法の分類
- 図 4. 現行および計画中のOEMコネクティビティ手法(米国、欧州、中国)
- 図 5. 中国の通信業界の加入者数及びシェア
- 表 6. 中国の通信料金体系
- 図 7. 中国におけるデータ通信利用者数の推移予測(2008年-2014年)
- 図 8. 中国におけるモバイルデータ通信の月間利用量(2009年-2010年)
- 図 9. 中国におけるSIM 対応とSIM非対応の加入者数の予測(2009-2013年)
- 図 10. 北京で提供されている料金プランのデータ超過分追加料金(1MB 当たり)
- 表 11. 中国におけるドライバーのデータ通信プラン利用による車載サービスの可能性
- 図 12. 米国の通信業界の加入者数及びシェア
- 図 13. 米国で提供されているデータ通信プラン
- 図 14. AT&T によるテザリング警告メッセージのスクリーンショット
- 図 15. 米国におけるSIM 対応とSIM非対応の加入者の割合(2010年)
- 表 16. 米国におけるドライバーのデータ通信プラン利用による車載サービスの可能性
- 図 17. 欧州におけるプリペイドとポストペイの加入者数の割合(2009年)
- 図 18. 欧州市場の全モバイル加入者に占めるデータサービス利用者の割合(2011年)
- 図 19. モバイルインターネット利用者数の推移予測(2009年-2015年)
- 表 20. 欧州の各通信事業者のテザリングに関する方針
- 図 21. EU27 各国におけるデータローミングに対する消費者意識
- 表 22. 欧州におけるドライバーのデータ通信プラン利用による車載サービスの可能性

SBD の基本理念

SBD は 1995 年の設立以来、自動車業界向け技術動向調査レポートやエンドユーザー調査といったサービスをグローバルに展開し、お客様の戦略構築をサポートしています。

SBD の技術エキスパートチームが、お客様の状況を正確に把握し、各国の市場ニーズ・技術要件の理解と費用対効果の高い製品開発を支援します。

本書の著者について



アンドリュー・ハート: ITS & テレマティクス シニアアナリスト

シェフィールド大学機械工学科卒。現在はナビゲーション、交通情報を専門とし、自動車メーカーやサプライヤー向けに、欧州における技術、事業、消費者トレンドについての情報を提供している。TISA をはじめとする数々の国際フォーラムのメンバーであり、欧州と日本における ITS 関連の催しでは、しばしばスピーカーを務める。

本書のご購入形態

※下記は税抜価格です

レポート名	日本語版 製本+PDF
テレマティクスにおける データ通信コスト: ドライバーの 携帯電話・SIM 利用の将来性 (SBD/TEL/3680)	¥225,000

お問合せ先:

SBD ジャパン

担当: 近藤 真子

E メール: mkondo@sbdjapan.co.jp

Tel : 052-253-6203

関連レポート



埋め込み型対 Bluetooth 型: テレマティクスコネクティビティオプションの評価

レポート番号: SBD/TEL/2810

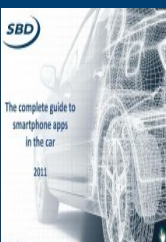
本書では、インテリジェンスの存在する車載システム（スマートフォン統合システムを除く）を対象に、テレマティクスの接続を可能にするソリューションを特定・分析し、メーカーおよびサプライヤーが直面するコネクティビティの課題への対応について提言を行っています。また、各ソリューションについて、それぞれの長所・短所を踏まえた評価を提供しています。



自動車アプリの解説 ~ 車載プラットフォーム及びスマートフォンの車載統合

レポート番号: SBD/TEL/2950

本書では、ドライバーが車内で安全にアプリへアクセスするために提供されている車載プラットフォームやスマートフォン統合ソリューション等の様々な技術ソリューションについて正確な評価を行っています。また、このような技術ソリューションが実際の製品やビジネス戦略に与える影響についても解説しています。



車内でのスマートフォンアプリ利用に関する総合ガイド

レポート番号: SBD/TEL/2940

近年インフォテインメントサービスは、自動車メーカー各社で重要視されており、特にスマートフォンの車両統合についてはますます高い関心が寄せられています。こうした関心の高まりを受け、SBD ではスマートフォンアプリの完全ガイドである本書を発行しました。本書では、様々なソリューションとその価格決定モデルを含む市場概況、および技術アーキテクチャの概要について解説しています。